

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 6 月 10 日 (2021.6.10)

【公開番号】特開 2020-127865 (P2020-127865A)
 【公開日】令和 2 年 8 月 27 日 (2020.8.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-034
 【出願番号】特願 2020-96235 (P2020-96235)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 20 日 (2021.4.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

ホール関係者が設定可能な複数段階の甲値に関する選択操作が可能な甲操作手段と、遊技者が設定可能な複数段階の乙値に関する選択操作が可能な乙操作手段と、前記甲操作手段により得られた前記甲値及び前記乙操作手段により得られた前記乙値に基づいて遊技音量を設定可能な遊技音量設定手段とを備えた
遊技機において、
電源投入後に、現在選択されている前記甲値の情報を取得し、当該甲値に関する情報を甲現在情報として記憶する第 1 現在情報記憶手段と、
前記乙値に関する情報を乙現在情報として記憶する第 2 現在情報記憶手段と、を有し、
前記甲値が変更された場合には、その変更後の前記甲値の情報により、前記甲現在情報の内容を更新するとともに前記乙現在情報の内容を更新し、
前記乙値が変更された場合には、その変更後の前記乙値の情報により、前記乙現在情報の内容を更新する一方、前記甲現在情報の内容を更新せず、
前記甲操作手段により第 1 甲値が選択され且つ前記乙操作手段により選択可能な乙値の最大値が選択された場合における前記遊技音量は、前記甲操作手段により第 2 甲値が選択され且つ前記乙操作手段により選択可能な乙値の最大値が選択された場合における前記遊技音量よりも小さい

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

本発明は、遊技音量の調整をより好適に行うことが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明は、ホール関係者が設定可能な複数段階の甲値に関する選択操作が可能な甲操作手段と、遊技者が設定可能な複数段階の乙値に関する選択操作が可能な乙操作手段と、前記甲操作手段により得られた前記甲値及び前記乙操作手段により得られた前記乙値に基づいて遊技音量を設定可能な遊技音量設定手段とを備えた遊技機において、電源投入後に、現在選択されている前記甲値の情報を取得し、当該甲値に関する情報を甲現在情報として記憶する第１現在情報記憶手段と、前記乙値に関する情報を乙現在情報として記憶する第２現在情報記憶手段と、を有し、前記甲値が変更された場合には、その変更後の前記甲値の情報により、前記甲現在情報の内容を更新するとともに前記乙現在情報の内容を更新し、前記乙値が変更された場合には、その変更後の前記乙値の情報により、前記乙現在情報の内容を更新する一方、前記甲現在情報の内容を更新せず、前記甲操作手段により第１甲値が選択され且つ前記乙操作手段により選択可能な乙値の最大値が選択された場合における前記遊技音量は、前記甲操作手段により第２甲値が選択され且つ前記乙操作手段により選択可能な乙値の最大値が選択された場合における前記遊技音量よりも小さいものである。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明によれば、音量の調整をより好適に行うことが可能となる。